



# インダストリアル・トリップ に参加して

## （関西投資環境セミナー）

株式会社 ジェイエイシー ジャパン 東京本社  
リチャード・メイソン

昨年11月、近畿経済産業局国際課及び投資交流促進課ではバイオ関連の外国企業・外資系企業、管内の総領事館、外国商工会議所・通商事務所等のオピニオンリーダー約80名を、世界最先端の技術を誇る再生医療・創薬分野の研究開発プロジェクト（神戸医療産業都市、彩都ライフサイエンスパーク）に案内し紹介するとともに、セミナー及びビジネス交流会を開催し、参加企業と関西地域のビジネスマッチングを図りました。

以下は、本インダストリアル・トリップ（セミナー）に参加されたJACジャパンの東京本社・アソシエイトディレクターのリチャード・メイソン氏の感想です。

まず、この場を借りて自己紹介をさせていただきます。私はヨーロッパ・ビジネス・コミュニティ（EBC）の人材コミティの会長であると共に、英国の商業会議所（BCCJ）の理事会のメンバーの一員です。こういうポストを持ちながら、私の本業はジェイエイシー ジャパンという会社の次長という職務をさせていただいております。



ジェイエイシー ジャパンという会社は、もともと英国で作られた人材紹介会社で、正社員の紹介及び派遣社員の紹介を行っており、東京・横浜・名古屋・大阪・京都という様々な地域に事務所をおいています。私どもの日本国内の事務所を通じて、特に関西地域では、外資系企業や日本市場に入ろうとしている新しい企業を積極的に支援



ネットワーキングパーティーの様相



関西投資環境セミナーの様相



セミナーで挨拶する大岡通商部長

していません。私もはこれまでに近畿経済産業局と素晴らしい関係ができており、日本貿易振興機構の様々な事業を支援しております。

そのため、前述したことを理由として、二〇〇四年十一月十七日、私は近畿経済産業局が日本貿易振興機構、貿易研修センター、中小企業基盤整備機構との共催により企画したインダストリアル・トリップに参加させていただきました。このトリップの大きな目的は、外国企業と外国機関に関西におけるバイオ産業のビジネス環境について紹介し、理解してもらって、参加企業とのビジネスマッチングを検討してもらうというものでした。

トリップは美しい秋の日に開催され、大阪の中心部にあるホテルからバスで出

発しました。バスに乗った直後に気が付いたことですが、参加者のうち関西地域で事業を立ち上げたいと真剣に考えている方が多く、トリップに参加するため何人の方が外国からわざわざ来られていました。

最初に立ち寄ったところは「彩都ライフサイエンスパーク」で、大阪の中心部から四十五分ほど離れたところでした。「彩都バイオインキュベータ」ビルの一層上から眺めると、秋の青い空を背景に梅田の高いビルがはつきりと見えたので、そのビルが大阪といかに近いのかとすぐ気づきました。

何よりもまず、私はそのプロジェクトがどれだけ大きいのかということに感嘆しました。そのエリアの自慢できるところは、数年後に開かれる予定のモノレールを含む素晴らしい交通アクセスです。「彩都ライフサイエンスパーク」から二十分程度離れたところには近代的なインターナショナル・スクールがあります。こういう環境は、対内投資を進めている日本国内の他地域には見られないと思います。

「彩都ライフサイエンスパーク」は二〇〇四年四月にまち開きが行われ、その中心となるビルは、ゲノム科学等を応用した画

期的な医薬品開発の基盤となる研究を行うため、素晴らしい技術と設備を備えています。そこでは競走入札により完成した実験室や設備を備えています。

また、「彩都バイオインキュベータ」では、ベンチャー企業に月々低家賃で様々なサイズの部屋を提供しています。月平均の家賃は二十万円で、それに加えて自治体からも寛大な補助金が出るということです。こういったボーナスは、多数の研究プロジェクトを生み出すため、近隣の大学との連携をもたらしめます。この地域に多くの外国企業が進出し、その従業員が快適に住まうことのできる環境を整えるため、大阪府と地元が積極的に支援しているということが私には理解できました。

次に、バスで「神戸医療産業都市」に向かって出発しました。トリップ参加者は手の込んだお弁当とおいしい日本茶をいただいたため、旅はより快適でした。神戸市を通過し橋を渡って、新しい埋め立て地の景色を見たとき、開放され秩序を持った町並みが意外に思われました。もちろん、神戸市の多くの地域は十年前の悲惨な震災の影響によって、今でも復興中です。しかし、神戸国際ビジネス・センターに到着したとたん、神戸が日本の中でも優れた都市とし

て生まれ変わりつつあるという事実を目の当たりにしました。

トリップは上手く企画されており、自治体のプレゼンテーションをはじめ、三つのケーススタディのセミナーから始まりました。発表された内容は、①バイオ・ベンチャーの挑戦について、大阪大学発のバイオ・ベンチャーである(株)総合医科学研究所の発表、②外国企業との共同研究の魅力、ということと(株)メディビックの発表、③外資系企業からみた関西、ということと関西地域で会社を設立し、現在、成功しているベルギーの会社（IBPテクノロジー(株)）からの発表でした。

その後、神戸キメックセンタービル、神戸臨床研究情報センター、神戸バイオメディカル創造センター、先端医療センターを見学しました。

残念ながら、私は二〇〇五年に愛知県で開催される万博関係の仕事のため、早速に名古屋へ向けて出発する必要があったため、セミナー終了後開催された「ネットワーキング・パーティー」に参加できず、ネットワーキングの機会を活かすことができませんでした。

この「インダストリアル・トリップ」に大変楽しく参加させていただくことができ、

計画していただいた関係者の皆様から感謝申し上げます。関西地域が積極的な投資環境整備を進め、その活動が軌道に乗っていることを知って大変勉強になり、心温まるものがありました。

【原文は英語、  
文責：近畿経済産業局 国際課】

#### JACジャパンの会社概要

会社名：(株)ジェイエイシージャパン  
本社所在地：東京都千代田区麴町3-2-4  
設立：1988年3月  
資本金：3,835万円  
代表者：代表取締役社長 神村 昌志  
事業内容：人材紹介事業、人材派遣事業  
URL：<http://www.jacjapan.co.jp>